

## 平成 27 年度 平沼高校同窓会千葉県支部総会と懇親会

支部長 柴田 勝<60 期> 報告:鈴木 美佐男<50 期>

平成 25 年 5 月 9 日 真澄会千葉県支部の総会を開催した。

今回は松戸市の「戸定が丘歴史博物館」にある国指定重要文化財「戸定邸」と「戸定歴史博物館」を見学のあと、近く中華料理店「竹琳ツクリン」にて総会と懇親会を開催というスケジュール。

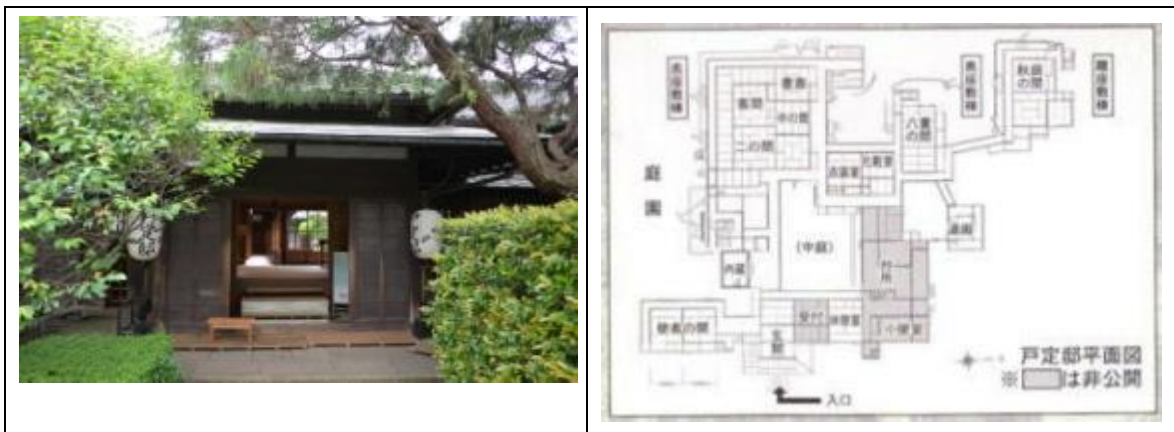
総勢 14 名の参加で、遠く千葉県外からの参加もあったが、残念ながら、第一高女時代の先輩の参加はなかった。JR 松戸駅に 11 時に集合、徒歩 10 分で公園入口に到着。



「戸定が丘歴史公園」は水戸徳川家の最後の当主である徳川昭武氏の別邸と庭園をもとに作られた公園で昭和 26 年に戸定邸と庭園が市に寄贈され、これを核として歴史的環境に相応しい公園づくりが始まり、平成 3 年に周囲の敷地 2.3 ヘクタールが「戸定が丘歴史公園」として整備され一般公開されたもの。松戸宿は江戸時代には江戸と水戸を結ぶ水戸街道の宿場町であり、そばの松戸神社には水戸藩二代藩主、徳川光圀ゆかりの銀杏の樹があるなど、古くから水戸藩と繋がり深い土地だった。

「戸定邸」は明治 17 年に幕府最古の将軍、徳川慶喜の弟、徳川昭武氏が建設し、後半生を過した邸宅でここには慶喜公も度々訪れ、趣味の狩猟や写真を楽しまれたとのこと。

徳川家の住まいが公開されているのは、全国でもここだけ。平成 17 年には「関東の富士見百景」に、平成 20 年 11 月には「ちば遺産 100 選」にも選ばれたが、現在は富士山の方に高層マンションが建設され、富士山が中央で左右二つに分断されてしまったという。全員、予約してあったボランティアの案内人の説明に熱心に耳を傾けながら、邸内を約一時間かけて熱心に見学した。





見学後、「戸定が丘歴史公園」の庭園を散歩して「戸定歴史博物館」へ。

ここでは、展示されている昭武や慶喜の遺品をじっくり鑑賞したあと、入口で全員の集合写真を撮り、

近くの中華料理店「竹琳ツリ」に移動し、総会と懇親会を行った。



柴田支部長から、会計報告と真澄会費の納入のお願いがあり、千葉県外に行田市から参加の磯貝さんに、千葉支部行田出張所長という辞令を交付。議事は全て全員了承で総会を終了。懇親会に移る。

軽妙な支部長柴田様の司会のもと、自己紹介から始まり、今回初めて参加された方もすぐに打ち解けて歓談は弾み、懐かしい先生方のお話やら、昔の高校生活の思い出、現在の生活や趣味の話などで盛り上がり、また思いもよらぬ様々な繋がりなどにもびっくりしながら会も盛り上がり、大いに楽しい時間を過ごした。15時30分にお開き。お土産に「清酒・真澄」と「創立100周年記念音楽式典」のCDを頂いて解散。



来年も5月に開催予定。千葉県にお住まいの卒業生の方、ぜひご参加ください。